

《五ヶ瀬川》小学生・保護者を対象とした防災学習を実施 ～自分たちのいのちを守るためにできることを周りと協力して～

- 五ヶ瀬川を題材とした防災学習を宮崎県延岡市の岡富小学校の5年生を対象に実施（H30.2.28, H30.3.2）
- 写真や模型などを用いて、五ヶ瀬川の過去の自然災害や防災への取組について学びました。
- 自分たちのいのちを守るために“できること”や“やるべきこと”は何かについて、保護者の方と一緒に考えて、とりまとめた意見を発表し、共有しました。

- 日時：①平成30年2月28日 11:00～11:45
②平成30年3月 2日 14:15～15:00
- 対象：岡富小学校5年生（3月2日は保護者も対象）
- 会場：岡富小学校体育館

②防災の取組について知る・考える（絵や模型を使って説明）

- 自然災害から人々の命を守るための国や地域の取組として、子供たちは堤防に着目した取組について想像し、絵にまとめた。
- 班毎に取組案について発表後、実際に行われている国や地域の取組について、模型を用いて説明。



洪水を防ぐ取組を考える



班ごとに取組案を発表



取組を模型で実演（嵩上げ）

①自然災害を学ぶ（地図、写真、映像で災害を知る）



- 延岡市でどんな自然災害が起こったのかを地図や写真、映像を見て感想を発表



岡富小学校付近の災害の写真を見た子供たちの感想

- 災害はいつ起こるか分からないから気をつけよう。
- 災害を知るいい学習だったと思う。延岡ではこういう災害があるということを知っておかないといけないと思う。
- 自分が学校に通っている道がこんなふうになっているとは思わなかった。
- 写真を見てびっくりした。

写真と地図で場所を確認しながら現在と災害時の違いを知る

③自分たちにできること

- 地域住民の取組について学んだ後、自分たちの命を守るために自分たちでできることややるべきことは何か、保護者の方と一緒に考えて、班毎に出てきた案を発表し、共有。



地域住民の取組を紹介



保護者と一緒に取組を考える



班の代表者が発表

④まとめ

- 「災害からくらしや命を守るために、国や地域は様々な取組を行っているとともに、自分たちができることを周りと協力しながら行うことが大事である」ということをまとめとして共有。